

[インデックスに戻る](#)

## 5. 論理と集合

### 5-1. 命題・条件・集合

#### 5-1-2. 条件と集合

#### 5-1-2-4. 否定

条件  $p$  に対して、「 $p$  でない」もまた条件である。これを条件  $p$  の否定といい、記号で  $\bar{p}$  と書く。

(注)

ある命題の否定を、“でない”を含まない表現で言い換えられることがある。

(例)

実数  $x$  についての条件「 $x$  は 1 より大きい」の否定は、「 $x$  は 1 以下である」

自然数  $x$  についての条件「 $x$  は偶数である」の否定は、「 $x$  は奇数である」

[インデックスに戻る](#)